

ノホロの丘小学校における
「新しい小学校になったことについてのアンケート調査」
結果について

— 学校規模適正化の効果検証 —



令和2年3月

札幌市教育委員会

目次

1 調査の概要・・・1ページ

2 アンケート調査の結果・・・4ページ

3 参考資料・・・47ページ



1

調査の概要



1 背景

札幌市では、少子化の影響により、児童生徒数の減少とともに1校あたりの学級数が減少する「学校の小規模化」が進んでいます。

学校の小規模化が進むと、教育面や学校運営面においてさまざまな課題が生じる可能性があることから、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、平成19年12月に「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針」を策定し、学校規模適正化の取組を進めてきました。

そのうち、上野幌小学校、青葉小学校、上野幌西小学校、上野幌東小学校を対象とした厚別区上野幌・青葉地域では、平成26年8月に「小規模校検討委員会」を立ち上げて検討を行い、統合の組合せを「上野幌小学校と青葉小学校」「上野幌西小学校と上野幌東小学校」とすることを決定しました。

さらに平成28年9月には、上野幌西小学校と上野幌東小学校の統合について詳細に検討する「南側部会」を立ち上げ、統合校の位置や開校時期、校名案等について検討いただきました。

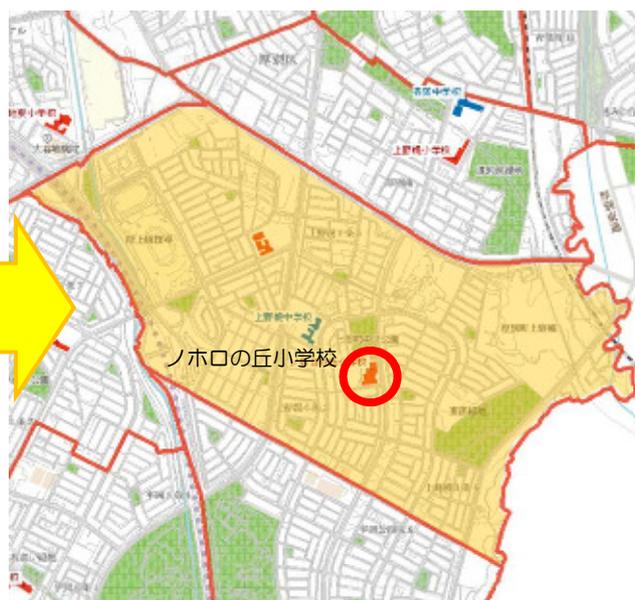
その検討内容をまとめた「意見書」を受けた札幌市教育委員会では、平成31年3月をもって上野幌西小学校及び上野幌東小学校を閉校し、同年4月に、上野幌東小学校の校舎を改修のうえ、ノホロの丘小学校を開校しました。

【地 図】

(統合前) ~H31.3.31



(統合後) H31.4.1~



2 目的

ノホ口の丘小学校の開校から約 9 か月が経過したことから、学校統合に伴う子どもたちの様子や変化などを把握し、学校規模適正化の効果を検証するとともに、配慮すべき点等、今後の学校規模適正化の取組の参考とすることを目的としています。

3 対象

- (1) ノホ口の丘小学校に在籍する2～6年生の児童
- (2) (1)の保護者
- (3) ノホ口の丘小学校に勤務する全教員

4 調査実施時期

令和元年（2019年）12月

5 調査票

参考資料（47ページ）のとおり

6 実施方法

学校を通じて、調査票を配布・回収し、教育委員会で集計及び検証を実施

7 回答数等

児童分：420枚（回答率96.5%）
保護者分：393枚（回答率90.3%）
教員分：26枚（回答率100.0%）

8 集計

- ・集計及び検証は児童、保護者、教員に分けて行っています
- ・児童、保護者ともに、質問3以降は全体の結果と併せて、学年比較のグラフも参考として掲載しています
- ・児童、保護者ともに、質問2（学年）について無回答の調査票があるため、全体の回答者数と学年別の回答者数の合計は一致しない場合があります
- ・特段の注意書きがない場合、設問に対して無回答の調査票は集計に含めていません
- ・各質問の自由記載は、同様の意見を集約して記載しています
- ・各質問の自由記載のうち、個人等に関するご意見は、相手方が特定できないよう表現を変えています